

会議研修報告用紙

事業所 松山ハロー薬局

氏名 松

会議・研修名	第8回中四地協 社保交流集会		
期間	2008年1月25日～1月26日	場所	かんぼの宿 徳島 ほか
1)会議・研修の目的と概要			
1/25；			
講演①「日本の医療制度」の過去・現在・未来について 徳島健康生協副理事長 久保田 滋			
講演②「じん肺闘争について」 建交労 全国労災職業病部会長 岩本 一男			
各県活動報告 ① ドクターウェーブの取り組み 徳島 ② 1職場1事例運動からの報告 岡山			
③ 岩国基地拡大反対闘争 山口 ④ 青年の平和活動 島根			
⑤ 特別医療費助成改悪を阻止するたたかい 鳥取 ⑥ 療養病床縮小反対運動 高知			
⑦ 薬害肝炎被害者支援の活動について 愛媛 ⑧ 高松協同病院における平和活動報告 香川			
⑨ 原爆症認定を求める裁判の取り組み 広島・紙面発表のみ			
夕食交流会			
1/26；平和について考えるツアー			
バルトの楽園ロケ村→ドイツ館→香川豊彦記念館で閉会集会			
2)会議・研修の様子と感想			
講演①について 自民党は1969年「国民医療対策大綱」から国民皆保険制度を批判し、高齢者保険について提起していたこと、政府の医療費抑制政策が大枠を決めてその具体化を進めてきたことが現在・未来に続いていることがわかった。政府・自民党などが作成する原文から読むことが大切と力説されたが、なかなか難しい。			
講演②について 「疾病のもとを断つ」じん肺訴訟のドラマを感じた。四国じん肺訴訟がはじめだったことを知らなかった。国を被告とした請求を放棄したというの知らなかった、もったいない。「謝れ、償え、なくせじん肺」というスローガンが、のちのほかの全国裁判に使われている。アスベストの問題との関連についても知りたかった。			
各県連報告の中では事例報告と岩国基地の報告が興味深かった。			
平和について考えるツアーは観光半分だったが、「バルトの楽園」の案内人さんが面白かった、映画を見てみたい。			
3)事業所の活動への提案・意見			
青年が生き生きと平和や人権について学習し行動する組織作りを望む。小集団なので、病院の行事に積極的に仲間入りさせてもらうのが良いと考える。			

会議・研修ご苦労さまでした。この報告用紙は、会議・研修終了後一週間以内に必ず 管理部まで提出してください。

事務長	管理薬剤師	代表取締役